



家庭から持ち寄った文房具を箱詰めする生徒ら
=21日、鳥取市青谷町青谷の青谷高

食品や文房具 青谷高生送る

こども食堂や
発展途上国に

青谷高（鳥取市青谷町青谷）の生徒が21日、家庭から集めた食品や文房具を同市内のこども食堂や発展途上国に送った。同校が取り

組むSDGs（持続可能な開発目標）学習の一環。小さな行動が多くの人を支えられることを学んだ。

発展現代社会を選択する生徒9人が企画。9月30日～10月13日に、校内3カ所に回収箱を設置し、未開封の食品や文房具を集めた。

生徒は、集まった調味料やレトルト食品を同校で箱詰め。近くの青谷郵便局に設置された「フードボックス」に届け、こども食堂へ寄付した。鉛筆などの文房具は愛知県のリサイクル業者に郵送しフィリピンなどに送ってもらう。

藤原亮太さん（17）は「捨てられてしまう物が少しでも有効に活用してもらえれば」と話し、池本康教諭（40）は「ちょっとした行動でも世界を変えていけると感じてほしい」と期待する。

（浜中裕一朗）